

1. 科目名 (単位数)	専門演習 I A (社会福祉制度・政策理論研究) (2 単位)	3. 科目番号	SSMP5201
2. 授業担当教員	金 貞任、尹 文九、藤田 伍一、佐々木 貴雄		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	通年
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	専門演習は、各研究分野ごとに、教員がチームティーチングで担当する科目である。専門演習 I では、受講者がこれから研究を進めていくための基礎を作るため、各研究分野についての幅広い理解とともに、研究の方法論についても、実践的に理解してもらうことを目的とする。受講者には、授業内で提示される課題に積極的に取り組み、自らの研究能力を高めていくことが求められる。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究テーマに関連する制度や政策理論について理解し、自ら説明することができる。</li> <li>・ これまでの研究の蓄積から学んだことを基にして、自らの研究計画を立てることができる。</li> </ul>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	授業内で指示する。		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 岩田正美他『社会福祉研究法 現実世界に迫る 14 レッスン』有斐閣アルマ、2006 (1-7 回目で使用) 尹文九『高齢社会の政治経済学—日本の高齢者福祉政策を中心に—』ミネルヴァ書房、2017 (8-15 回目で使用) 田多英範編『「厚生 (労働) 白書」を読む』2018 ミネルヴァ書房 (21-23 回目で使用) このほか、14. 学習の展開及び内容の <b>【参考文献】</b> 欄を参照されたい。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 8. 学習目標を達成することができたか。 ○評定の方法 授業内での課題への取り組み 50% 自らの研究についての授業での発表 50%		
12. 受講生へのメッセージ	修士論文作成に向けてのプロセスは、1 年次から始まっている。積極的に学び、自らの能力を高めていってほしい。		
13. オフィスアワー	授業において各担当教員に確認されたい。		
14. 学習の展開及び内容	<b>【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】</b>		
1. テーマ	研究とは何か (金)		
<b>【学習の目標】</b>	研究とは何かについて学習する。		
<b>【学習の内容】</b>	研究とは何を意味するかを考える。 社会福祉研究の特徴について理解する。 社会福祉研究の分野と範囲に関して把握する。		
<b>【キーワード】</b>	研究の特徴、研究分野、研究範囲		
<b>【学習の課題】</b>	研究とは何かに関して学習する。 受講生の研究テーマに関する先行研究を集める。		
<b>【参考文献】</b>	岩田正美ほか『社会福祉研究法』有斐閣アルマ、2006 安部陽子『看護研究のための文献レビュー：マトリックス方式』医学書院、2012 福祉社会学会雑誌、老年社会科学雑誌、社会政策学会雑誌、社会福祉学会雑誌		
2-3. テーマ	研究の設計方法と先行研究レビュー (金)		
<b>【学習の目標】</b>	研究の設計方法について理解する。 論文の設計方法の仕組みを理解する。 先行研究レビューの記述を理解する。		
<b>【学習の内容】</b>	研究のテーマに関するルールを学習する。 研究の概念の定義の記述を身につける。 先行研究の収集とレビューの記述方法を学習する。		
<b>【キーワード】</b>	テーマ設定、研究の概念、先行研究レビュー		
<b>【学習の課題】</b>	研究テーマの設定を学習する。 先行研究を収集し、先行研究をレビューする。		
<b>【参考文献】</b>	岩田正美ほか『社会福祉研究法』有斐閣アルマ、2006 安部陽子『看護研究のための文献レビュー：マトリックス方式』医学書院、2012 福祉社会学会雑誌、老年社会科学雑誌、社会政策学会雑誌、社会福祉学会雑誌		
4-5. テーマ	研究の倫理と仮説の構築、高齢者福祉論文の購読 (金)		
<b>【学習の目標】</b>	研究の倫理とは何かについて理解する。 論文のオリジナルティを発見する。 仮説の構築の仕組みを学習する。		
<b>【学習の内容】</b>	研究の倫理が重要な理由を整理する。 論文のオリジナリティを記述する。 仮説を構築、仮説検証の手続きについて理解する。 高齢者に関連する研究の仮説を作成する。		
<b>【キーワード】</b>	研究の倫理、オリジナリティ、仮説、検証		
<b>【学習の課題】</b>	論文では、研究の倫理がどのように扱われているか整理する。 研究の背景と目的、先行研究レビュー、仮説を設定する。		
<b>【参考文献】</b>	岩田正美ほか『社会福祉研究法』有斐閣アルマ、2006 安部陽子『看護研究のための文献レビュー：マトリックス方式』医学書院、2012 福祉社会学会雑誌、老年社会科学雑誌、社会政策学会雑誌、社会福祉学会雑誌		

6-7. テーマ	政策論文の購読 (金)
【学習の目標】	介護保険制度に関する政策論文を学習する。 社会福祉に関する政策論文の長所と短所を学習する。 先行研究を批判的に捉えることを学ぶ。
【学習の内容】	介護サービスの社会化に関する先行研究をレビューする。 介護サービスの選別化と普遍化とは何かを学習する。
【キーワード】	介護保険制度、介護サービス、介護の社会化、普遍化、選別化
【学習の課題】	介護保険制度の政策研究を収集する。 介護サービスの社会化とは何かを調べる。 介護サービスの選別化と普遍化とは何かを整理する。
【参考文献】	岩田正美ほか『社会福祉研究法』有斐閣アルマ、2006 福祉学会雑誌、老年社会科学雑誌、社会政策学会雑誌、社会福祉学会雑誌
8. テーマ	政策と政策類型、政策学 (尹)
【学習の目標】	政策の概念や類型、政策学について理解する。
【学習の内容】	1. 政策の概念を政治、制度や意思決定 (無意志決定) 企画、計画などと比較検討 2. 職制や機能、性格による政策類型 3. 政策学的重要性や研究の方法
【キーワード】	政策、政治、制度、計画
【学習の課題】	次回のキーワードについて調査し、理解した内容をまとめておくこと。
【参考文献】	尹文九『高齢社会の政治経済学—日本の高齢者福祉政策を中心に—』ミネルヴァ書房、2017
【学習する上での留意点】	専門用語の内容を明確に理解する。
9. テーマ	政策環境 (尹)
【学習の目標】	政策環境にはどのようなものがあるかについて理解する。
【学習の内容】	1. 政策環境の意義 2. 政策環境として少子高齢化社会 3. 政治体制と政策関係 4. 政策決定過程のアクター (参加者) 5. 政策企業家
【キーワード】	政策環境、政治アクター、少子高齢化社会、政策企業家
【学習の課題】	次回のキーワードについて調査し、理解した内容をまとめておくこと。
【参考文献】	前掲書
【学習する上での留意点】	社会政策と関連し、少子高齢社会をめぐる諸問題点を理解する。
10. テーマ	福祉国家と福祉政策 (尹)
【学習の目標】	福祉国家と福祉政策について特に福祉レジーム論を中心に福祉国家を理解する。
【学習の内容】	1. 福祉国家と福祉社会 2. 社会福祉政策に発展移管する理論 3. 福祉レジーム 4. 権力資源動員モデル
【キーワード】	福祉レジーム、福祉国家、権力資源動員モデル
【学習の課題】	政策決定理論モデルの中で、自分が好きなモデルを選び、その内容を調べ、理解した内容をまとめる。
【参考文献】	前掲書
【学習する上での留意点】	福祉レジームの内容を明確に理解する。
11. テーマ	社会福祉政策決定の理論モデル (尹)
【学習の目標】	社会福祉政策を決定する際、どのような理論モデルがあるかについて理解する。
【学習の内容】	1. 政策決定理論モデル 2. 日本の政策決定に関する理論 3. 政策形成プロセス、4. 政策議題の設定
【キーワード】	合理的な意思決定モデル、満足モデル、エリート理論、政策議題
【学習の課題】	次回のキーワードについて調査し、理解した内容をまとめておくこと。
【参考文献】	前掲書
【学習する上での留意点】	政策議題設定に影響を及ぼす要因について明確に理解する。
12. テーマ	日本の高齢者福祉政策の歴史 (尹)
【学習の目標】	少子・高齢化の政策環境の変化に対して日本政府が具体的にどのように対応してきたかを理解する。
【キーワード】	1. 歴史・制度的アプローチ研究方法 2. 歴史から見た日本の高齢者福祉政策の変化 3. 日本型福祉社会論 4. 福祉文化と福祉政策
【学習の課題】	次回のキーワードについて調査し、理解した内容をまとめておくこと。
【参考文献】	前掲書
【学習する上での留意点】	なぜ、日本政府は高齢者福祉政策においては約10年程度で大きな政策転換が行われてきたのかを理解する。
13. テーマ	政策の憲理論モデルと介護保険法の決定過程 (尹)
【学習の目標】	政策の憲理論モデルを用いつつ、介護保険制度の政策形成及び決定過程を理解する。
【学習の内容】	1. キングンの政策の憲理論モデル 2. 介護保険制度の政策形成過程 3. 介護保険制度の決定過程
【キーワード】	政策の憲理論モデル、介護保険制度、政策形成と決定
【学習の課題】	次回のキーワードについて調査し、理解した内容をまとめておくこと。
【参考文献】	前掲書
【学習する上での留意点】	政策形成過程と決定過程における、特に政治アクターを中心にその役割などを理解する。
14. テーマ	政策執行と老人医療政策 (老人医療費無料化制度) (尹)
【学習の目標】	老人医療費無料化を事例として政策執行の内容を理解する。
【学習の内容】	1. 政策執行の重要性 2. 政策形成と執行の関係 3. キャンベルの政策類型モデル 4. 老人医療費無料化制度 5. 政策執行に影響を及ぼす要因
【キーワード】	政治・行政一元論と二元論、大きくて新しい決定モデル、老人医療無料化制度、福祉元年
【学習の課題】	次回のキーワードについて調査し、理解した内容をまとめておくこと。
【参考文献】	前掲書
【学習する上での留意点】	政策執行は政策環境、特に経済や政治的な要因によって大きく影響を受けやすいが、第2セクターとは異なることを理解する。
15. テーマ	政策評価と総括 (尹)
【学習の目標】	政策評価の意義と評価の方法について理解する。また、全体の内容について総括する。

【学習の内容】	1. 政策評価の意義や目的 2. 政策評価の難しさ 3. 政策評価の方法 4. 政策評価の限界
【キーワード】	formative 評価 summative 評価 効率性 効果性 妥当性
16. テーマ	発展段階説から見た「政策理論」と「制度」を考える (藤田)
【学習の目標と内容】	まず基軸的な政策理論や政策思想の発展傾向から、マクロ政策の構造を考える。
【キーワード】	社会政策、経済政策、総合社会政策、
【学習の課題】	近代以降の主要な政策体系を類型化して段階論的な特徴を探ってみよう。
【参考文献】	関係資料などは授業で提示する。
17-19. テーマ	近代以降の基軸的政策体系を社会政策と経済政策に求め、段階的国家像を描いてみる。(藤田)
【学習の目標】	基軸的政策体系を段階的に捉え、それに照応する国家像をみていく。
【学習の内容】	社会政策の理論と実体、経済政策の理論と実体、総合社会政策の理論と実体を中心に講述し、議論をおこなう。
【キーワード】	階級国家、経済国家、福祉国家
【学習の課題及び留意点】	国家像の3類型に十分留意してほしい。
【参考文献】	関係資料などは授業で説明する。
20. テーマ	段階的国家像である福祉国家の諸課題をみていく。(藤田)
【学習の目標】	現代福祉国家の実像を理解し、福祉国家段階の課題とそのプロセスについて考えてみる。
【学習の内容】	福祉国家の条件と政策課題をいくつか提示してみよう。
【キーワード】	総合社会政策、環境政策、社会保障制度、労働問題等。
【参考文献】	関係資料などは授業で説明する。
21-23. テーマ	日本の社会問題と社会保障制度の歴史的理解 (佐々木)
【学習の目標】	日本の社会保障制度に影響を与えた社会問題の変化について、厚生(労働)省がどのようにとらえてきたのかを検討する。
【学習の内容】	テキストの内容を理解した上で、授業内でディスカッションを行う。
【キーワード】	厚生省、貧困、高齢化、総合調整
【学習の課題及び留意点】	日本を研究対象にする際も、他国を研究対象にする際も、日本の制度動向は参考にする事が多いと考えられる。現在どのような制度になっているかだけでなく、どのような経緯で今の制度になっているのかを理解してほしいし、その中で各国の歴史的位置を考えてほしい。
24-25. テーマ	社会保障・社会福祉政策に関する研究論文の精読 (佐々木)
【学習の目標】	研究論文の構造を学ぶとともに内容を理解し、その成果とともに課題を指摘できるようにする。
【学習の内容】	『社会政策』『社会保障研究』『社会福祉学』などの研究雑誌に掲載された、社会保障・社会福祉政策に関する論文を精読し、論文の流れや構成を理解するとともに、その内容について批判的に検討する。
【キーワード】	社会問題 政策過程 政策評価 制度分析
【学習の課題】	授業で取り上げる論文について精読し、要約するとともに、その論文の成果や問題点について説明する。
【学習する上での留意点】	論文を読まずに論文を書くことはできない。授業で取り上げる文献だけでなく、多くの文献に触れることで、研究の方法論を体得してほしい。
26-27. テーマ	自分の研究に関する先行研究の紹介 (佐々木)
【学習の目標】	自らの研究内容について、先行研究を踏まえた形で説明できるようになる。
【学習の内容】	自らの研究について、先行研究を紹介しながら説明する。
【キーワード】	先行研究 リサーチ・クエスチョン
【学習の課題】	自らの研究について、先行研究を紹介しながら説明する準備を行う。
【学習する上での留意点】	論文を読まずに論文を書くことはできない。多くの文献に触れることで、研究の方法論を体得してほしい。
【参考文献】	日本ソーシャルワーカー学会監修『ソーシャルワーカーのための研究ガイドブック』中央法規、2019 久田則夫編『社会福祉の研究入門 研究立案から論文執筆まで』中央法規、2003 大学院要覧の「修士論文の手引き」のページ
28-30. テーマ	研究計画の発表と構想発表に向けての準備 (佐々木)
【学習の目標】	より良い研究計画書を作成するとともに、構想発表の準備を整える。
【学習の内容】	研究計画書の進捗状況を発表し、受講者間で議論を深めていく。
【学習の課題】	研究方法の授業で学んだことをもとに、指導教官の指導を受けながら、研究計画書の作成を進めておくこと。
【参考文献】	岩田正美他『社会福祉研究法 現実世界に迫る14レッスン』有斐閣アルマ、2006 伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣、2001 二本立『福祉教育はいかにあるべきか 演習方法と論文指導』勁草書房、2013 伊藤修一郎『政策リサーチ入門 一仮説検証による問題解決の技法』東京大学出版会、2011 佐藤郁哉『社会調査の考え方 上・下』東京大学出版会、2015
【学習する上での留意点】	他の受講者も発表を参考にしながら、より具体的で明確な研究計画書としてほしい。